

**hot news**  
**事業評価の結果を公表**  
**●継続的な事業の見直しに向けて**

平成十一年度から始まった事業評価システム。これは市が行っているさまざまな事業の成果、必要性を、数値などの指標で客観的に評価・点検するものです。このシステムの評価結果に基づき、継続的に事業の見直しを行うことで、時代の変化に対応した行政運営を推進します。

今回は、個別の事業を評価する「事務事業評価」に加え、新たな取り組みとして、公共施設を対象に事業評価を実施しました。これは、公共施設がどのくらい効果的・効率的に活用されているか、行政の事業として適切かどうか、といった観点から、具体的指標で評価するもの。効果的な施設運営や公共施設の在り方そのものについて、この評価に

基づき検討していきます。今年度の事業評価結果の公表は十月三十一日(木)から左記の場所で行います。ぜひご覧の上、多数のご意見をお寄せください。

**閲覧場所** 区役所、出張所、連絡所、市役所2階市政情報センターなど。制度の仕組みを説明するリーフレットも配布します。ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/somu/ryoka/> に掲載。

**【詳細】** 都市経営課 ☎(211) 2177

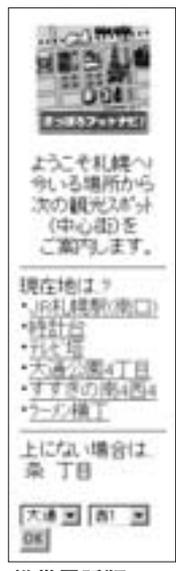
**hot news**  
**情報提供サイト「さっぽろフットナビ」を公開**  
**●携帯電話上で行きたい場所へ「道案内」**

インターネットで札幌の観光スポットなどが検索できる情報提供サイト『さっぽろフットナビ』を十月三十日(水)から公開します。

このフットナビは、携帯電話とパソコンで利用できるようになっていました。携帯電話版のサイトでは、市内中心部から徒歩で移動できる施設や場所の情報を提供。現在位置を入力すると、付近の施設までの移動時間や、観光情報を表示し、地図上で位置関係を

確認することができます。もう一つの大きな特徴は、このサイトが、情報交換の場であることです。サイト上で、個人の知識や経験を基に、札幌の見所や魅力について情報提供してくれるのがコンシェルジュ。コンシェルジュとは、フランス語で「案内人」を意味し、札幌を訪れる人の「知りたいたいこと」に、素早く答えてくれます。

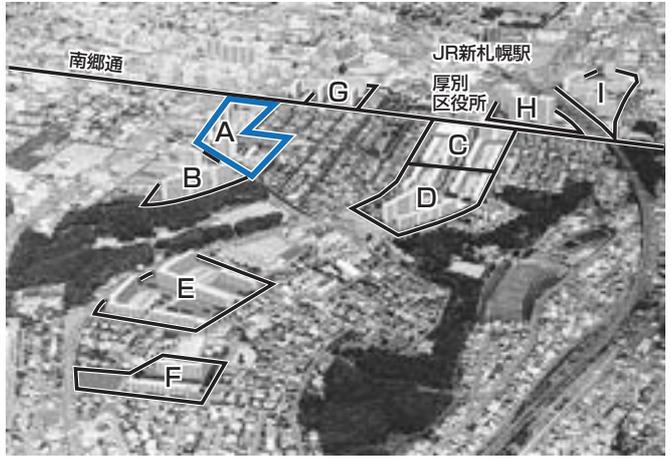
**【詳細】** IT推進課 ☎(211) 2184



携帯電話版フットナビのトップページ

**hot news**  
**建て替えが進む**  
**市営下野幌団地**

**●12年度着工部分が初めて完成**



AからIまでの9ブロックからなる下野幌団地の完成予想図。平成25年度の完成に向け、アルファベット順に建て替えを進めています。A、B、C、D、E、Fは青葉団地に

平成二十五年度を目標に順次建て替えを進めている厚別区の下野幌団地。このほど、平成十二年度に着工した第一期分の「Aブロック」五棟二百八十五戸が完成し、十月から、これまで住んでいた方の再入居が始まります。

下野幌団地は、高度経済成長期の急激な人口増加に対応するため、昭和四十年代に建設された百三棟三千二百七十戸の大規模団地。

しかし、浴室のない2DKが大半を占め、現在の居住水準に合わなくなっていることに加え、老朽化が進み、設備などの更新が必要な状況にある。

こうした環境を改善するため、全面建て替え後、四十五棟二千九百四十九戸となる団地は、1LDKから3LDKまでをバランス良く配置するだけでなく、車いす用の住宅も整備。また、すべての棟にエレベーターを設置するほか、室内の段差も解消するなど、幅広い年齢に対応する団地を目指します。

なお、地域の方々の要望を踏まえ、青葉町部分の新しい建物から順次、団地名を「青葉団地」に変更します。

**【詳細】** 住宅整備課 ☎(211) 2728